

歳出

（町の支出）

質疑

農林水産業費

農と食による地域の魅力創造事業の成果は

田中委員 事業の成果はどうだったのか。6次産業化はできるのか。

農林主幹 枝豆を中心とした豆のブランド化や、産地づくりを推進してきた。成果として



農業は人手がいるんです

は、若い生産者の増加と作付面積の拡大、さらには生産額も大きく伸びている。6次産業化も今後の課題はあるものの、「プレミアム豆腐」「ジェラート」「枝豆キムチ」などを開発し産業フェアでも試作品を提供した。

有害鳥獣の被害状況は
 笹原委員 有害鳥獣駆除事業補助金が出ているが27年度の被害状況は。

農林主幹 ツキノワグマ、カラス、ヒヨドリ、ハクビシンなどによる被害があった。被害額は、りんご、桃、ぶどうなどを中心に約513万円。カワウによる想定被害額約700万円である。今後とも注意を呼びかけるとともに、電気柵等の補助金の周知を行う。

農業活性化センター推進事業状況は
 田中委員 事業の取り組み状況を問う。

農林主幹 東京で開催の「新農業人フェア」への参加や若手農業者同士の情報交換会を行った。また、新規就農者に限らず、担い手の方々の大型特殊や牽引免許の取得助成も行っている。

商工費

観光協会の現状と今後の対応は
 関委員 観光協会の事務局体制が弱体化しているように思われるが、現状と今後の対応を問う。

町長 常勤ではないため、職員の雇用が不安定である。職員が働きやすい環境を念頭に対応したい。



ガッチリ組み立てるぞ（産業フェア）

産業フェアはなぜ夏に開催する意味ではないか。
 笹原委員 産業フェアを夏に開催する意味は。秋の開催でもいいのではないか。

産業振興課長 夏の開催は実行委員会でのさまざまな検討の結果決定された。ただ、年ごとに集客数が減少傾向にあることも踏まえて今後検討していく。

企業立地促進事業は雇用の促進に結び付いたか
 佐々木委員 工場増設等の事業費を補助する条件に「雇用者数の増加」があるが、結果は。

産業振興課長 3社に対して事業費等の補助をおこない、それぞれ4人、10人、12人の新たな雇用があった。